

市政ニュース

昭和41年3月5日発行 第159号

毎月5、15、25日発行 一部2円

発行所 五所川原市役所

旭町子ども会

昭和38年6月誕生した、旭町子ども会（会長 松野明三郎）は、いま、小学生70人、中学生40人と町内の小中学生全員が会員となり

活動しております。

また、子ども会の誕生と同時に、子ども会育成会も作り父兄のみなさんが会員となって、子ども会の健全な成長と発展を見まもっております。

現在は、春のお別れ会（卒業生を送る会）、夏の海水浴秋の遠足、冬のスキー講習会、そしてリーダー養成のための講習会への参加等の活動をしております。

やがては、優秀なリーダーを養成して、子ども会の運営や企画を、子どもたちが自主的に行なうよう、いま、一步一步進んでおります。

子ども会育成会々長 浅利政一

新農業研究所

水稻：省力栽培の推進

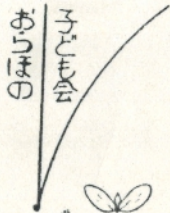
農業経営は、人作りからと、新農業研究所も、すでに、職員と農研団体の会員が、ともに研修を終え、新農業へと歩を進めております。水稻、りんご、野菜、畜産、林業の各部門は、いよいよ四月から、本格的に試験研究をはじめ、当市農業の所得の向上をはかるための方針がきまりました。

水 稲

これからの農業は、省力多収という栽培にかわってきますが、国は、高度集団栽培を打ちだし、省力栽培を推進することになっております。

高度集団栽培は、新しい技術を取り入れ、メニニュー方式（農業機械を選択して導入する方法、これにより作業は、すべて機械化されます）を採用することになっております。

当市としても、このモデル地区を、県に申請しております、指定の有無が三月中旬は、きまることと思っております（ヘリコプターによる集団防除については、飯詰の伝



資料を集め検討します。

林 業

農業経営の充実と、土地利用を高める意味から、クリ、クルミ等樹実の試験を林業試験場に委託して行なうことになっております。

この樹実の試験は、現在林業試験場において、県内に適する品種の選定を検討しております。

当市では、神山地区を試験地として実施する予定です。

この試験の結果によりクリ、クルミの栽培を奨励することになります。

畜 産

土地の高度利用を考え中山山脈の牧野適地を調査しその土壌調査を、畜産試験場に委託し、牧野にするための牧草の栽培試験を行ない、可能なところで、肉牛の飼育に関する研究をし、肉牛の飼養を奨励することになります。

家畜の品評会は、中家畜を対象に行ない、優良品種の奨励につとめたいと考えております。

野 菜

野菜の早熟栽培は、昨年から野菜研究団体が研究を進めてきましたが、ことは、野菜研究団体にビニールハウスによる早熟栽培の特産として、ながいかに研究してもらい、近い将来特産化にし、水稻とりんごの収入よりない当市農業に新分野を開拓し、農業所得の増に着々と歩を進めたいと思っております。

また、流通を考え、市場の開設を目標に、先進地の

りんご

助町が、県農業試験場の集団試験地として、ことしも引きつづき、実施されることになっております。昨年から、市の主催として開いている米増収共進会は、ことしも引きつづいて行ない、農研団体の研究成果を発表してもらうことにしております。

当市のりんご園は、栽培の基本であります土壌調査が、ほとんど行なわれていないので、これにメスを入れます。

また、現在栽培されている品種は、市場価格の低いものが多く、味や着色が悪



農業問題をテーマとした「市長を囲む座談会」は、前号で、農道の整備、用水堰の保全、農研団体の育成の3つについて、掲載しましたが、今回は、つぎの2つの問題を集約して掲載します。

営農指導地

の設置を

— 私たちの模範とし、教訓となる、水稲、りんご、野菜、畜産などのモデルケースを設置してほしい。
また、集団栽培というところを、市として計画されているようですが、これについて、お知らせください—

◇水稲◇

市長：水稲については高度集団栽培実験地を、当市に設けるように県に要請しております。この実施にあたっては、できればメニエー方式を取り入れていきたいと考えております。

また、いままで飯詰地区で、ヘリコプターによる集団防除をやっていたのですが、この集団防除を、つづけていただきたい。

高度集団栽培が、本格的に実施される段階になりますと、省力多収という、稲作栽培が、まったく新しい形として、できることになりました。これについては、十分期待してよいと考えます。

◇りんご◇

りんごの粗皮病は、市長

に就任と同時に、りんご試験場に行ってみたが、当時は、まだ粗皮病の原因も、防除対策も確実な見通しかなかったのです。

その後、金山地区では土壤改良して、一応の成果を得ましたが、これは決して万全ではないのです。

したがって、粗皮病、紋葉病については、今後、さらに研究が必要であり、この試験研究をやっていたことになっております。

また、当地域はりんごのための土壤調査をしていないので、土壤調査にメスを入れることにしております。生産については、一応のメドがついているが、当市産のりんごは、味も、色も包装も悪いといわれているので、この打開策として、品種更新をしようと考えております。

同時に、品種の改良、向上ということで、立木評議会を計画しております。

◇野菜◇

野菜の特産化についてはみなさんの熱心な要望により、四十年産から、ビニールハウスの補助をだしておりますが、当市は、なにをもって特産として行くかは今後、十分検討を要します

◇畜産◇

これからの畜産は、なるべく濃厚飼料（購入飼料）を少なくすると同時に、労力もなるべくかけない方向に、もって行かなければなりません。

したがって、中山山脈の牧野適地の土壤調査をして牧野品種適応栽培試験、役肉飼養に関する研究をして十分検討したいと考えております。

◇林業◇

林業は、人間の労力を要しない樹実の栽培（主として、クリ、クルミ）を考えております。

しかし、これらの樹実はいまのところ寒さに強い品種がないのが現状です。

こうした樹実の寒冷地栽培試験は、現在、北大でおこなわれておりますが、この試験地を中山山脈地帯に今年、実施することにしております。



◇農業経営は

人作りから◇

なんとしても、農業経営は、人作りが大切なものですから、ことは、先進地の視察を実施したいと考えますので、みなさんのご協力をお願いします。

中学校に在学中の、将来の五所川原農業をになう、

野菜の流通機構と市場の開設

— 八戸、青森周辺の野菜栽培地の現状からみますと生産があがって、二〜三年たちますと、過剰生産になり、流通が、かならずカベにぶつかります。

このような、過剰生産による値下りを防止する意味におきまして、県外各地の市場価格を考え、移出を計画し、地元が過剰生産におちいらないように、今から十分研究して、市場を設置してほしい—

市長：市場は、県としてまず、青森、八戸、弘前の旧三市に開設する計画をたてており、旧三市のつぎに当市に開設してくださるよう、お願いしております。

この旧三市が、どうゆう形で市場を開設するかが、重要なことです。

当市も流通等の問題を検討して、計画する予定です。ので、これについては、みなさん方も、十分打ち合せしたい考えです。

（おわり）



たのしい一年生

童心を傷つけないしつけが必要

ことし新しく、小学校に入学されるお子さんは、市内で一、〇〇七人、入学されるお子さんをお持ちの家庭では、いまから楽しみにしていることと思います。学校生活は、スタートが大切ですから、つぎのことを心がけましょう。

◇からだが悪くては、せっかくの学校生活も、つまらないものになります。まず、「健康」が大事です。

◇学校生活は、時間的になりすから、いまから、いくらかでも 規則正しい生活をさせるようにしましょう。

また、誰でもなかなかよく遊べるようにしましょう。

◇身のまわりは、自分でやれるように指導して行きましょう。また、自分のものと、よその人のものとのまちがわないように、自分の持ちものには、名前をつけておきましょう。

◇自分の名前をよべたら「はい」と、はっきり返事できるように、また、「ぼく」「わたし」というようにしましょう。

親の名前と、おともいえるようにしましょう。

◇通学については、学校

でもくわしく教えますが交通事故にあわないにするために、家から学校までの道をお知えておきましょう。また、正しい道路の歩き方横断など教えてあげましょう。

◇市が、新しい一年生に毎年さしあげている、黄色い帽子は、ことしも、入学式の日にしあげます。

公営住宅入居者

- ◇第一種(十八戸)
 - 小笠原秋尾(丸ノ商店)
 - 川村定雄(廉売市場)
 - 川よつ(中里郵便局)
 - 三橋昭次(五一中)
 - 大久保久雄(消防署)
 - 成田昭紀(工業高校)
 - 工藤房一(敷島分院)
 - 小島英一(新菱自動車)
 - 木村忠蔵(宮崎建設)
 - 戸清一(渋谷建設)
 - 尾沢満雄(自営)
 - 柏崎昌志(鶴常書店)
 - 戸勇(郵便局)
 - 古川光義(島口木工所)
 - 山中利幸(市役所)
 - 高橋武雄(井沢工務所)
 - 福井教夫(郵便局)
 - 松浦勲(相互タクシー)
- ◇第二種(三十戸)
 - 佐々木修(五所川原駅)
 - 山形幸一(レストラン富士)
 - 田中章文(津軽鉄道)
 - 佐井喜代恵(吉金商店)
 - 今喜美男(青森民友)
 - 唐川深(木造高校)
 - 工藤兼藏(古二商店)
 - 渡辺愛子(中村外科)
 - 工藤武男(津軽鉄道)
 - 加藤幸之進(池田林務署)
 - 成田金一(渋谷建設)
 - 館山国昭(土木事務所)
 - 渋谷新一(たん吉)
 - 秋田定則(新谷電氣)
 - 対馬正弘(川栗)
 - 加藤清喜(小中左官工業)



たのしい一日入学

五所川原小学校では、二月二十三日、新しく入学す

るお子さんたちの「一日入学」をおこないました。よい子たちは、おとうさんおあさんにつれられて、吹雪のなかを元気に登校して、先生のお話しゃ、おにいさん、おねえさんのおうたや、器楽の演奏に楽しい日をすごした。

市民スキー大会
林杯は高松

五所川原スキー協会、市教育委員会主催の第八回市民スキー大会は、二月二十七日、嘉瀬スキー場でおこなわれました。

- ◇回転(林昭夫杯)
- 高松栄吉(木村スポーツ)
- ◇回転(壮年)
- ①敦賀(東北電力)
- ②神(ク)
- ③山本(三協スポーツ)
- ◇回転(成年)
- ①小田桐(木村石油)
- ②葛西(東北電力)
- ③宮西
- ◇回転(青年)
- ①斎藤(長橋)
- ②伊藤(毘沙門)
- ③山口(飯詰)
- ◇回転(中高校)
- ①長尾(五高)
- ②山口(ク)
- ③松橋(五一中)
- ◇大回転(一般)
- ①森(松島団地)
- ②奈良(自動車ク)
- ③小田桐(木村石油)
- ◇大回転(中高校)
- ①山口(五高)
- ②長尾(ク)
- ③松橋(五一中)
- ◇回転リレー(一般)
- ①東北電力
- ②飯詰
- ③湊団地

「みんなの声」に「一寄稿を」

市政ニュースを、より意義あるものにするため、「みんなの声」の欄を設けました。

市政に対する建設的な意見を、四〇〇字以内にとめて、市役所企画課広報係まで、どしどしお寄せください。よろしくお願いします。

田町通り大型車の通行禁止

本町葛西薬店前から、平和町入口までの二級国道は道路工事のため、三月中、大型自動車の通行はできません。



くわしくは市民課へ

さる1月11日の三沢大火罹災者によせられた救援金、救援物資は、日赤県支部を通じてお送りいたしました。
救援金 251,204円也
救援物資 36梱包
市民のみなさま、ありがとうございます。

国保被保険者証の検認

みなさんが、いま使っている国民健康保険の「被保険者証」は、この三月三十一日で使用なくなり、つぎの日程で「被保険者証」の検認をおこない、その有効期間を昭和四十二年三月三十一日まで、延長することになりますから、期間中にならずに検認をうけてください。

- ② 家族に異動のあった方は、異動した方の住所、氏名、生年月日をかきとめてお持ちください。
- ③ 他の健康保険に加入した方があるときは、その被保険者証もお持ちください。

被保険者証検認日

(検認時間9時～15時)

地区	検認場所	検認日
七長松梅	和橋島沢	3月14日～15日
七長松梅	和橋島沢	3月16日～17日
七長松梅	和橋島沢	3月18日～19日
七長松梅	和橋島沢	3月22日
七長松梅	和橋島沢	3月22日
七長松梅	和橋島沢	3月23日～24日
七長松梅	和橋島沢	3月25日～26日
七長松梅	和橋島沢	3月28日～29日
七長松梅	和橋島沢	3月30日～31日
七長松梅	和橋島沢	3月14日～31日

① 「被保険者証」と印か
 市がおこなう工事の請負を希望する方は、工事指名願に経歴書、その他必要書類を添えて、三月末日までに提出してください。くわしくは、市役所建設課にお問合せください。

工事請負希望者
 は指名願の提出を

四月一日から、生活保護をうけている家庭の妊産婦乳児と、市民税がかかっていない家庭の妊産婦乳児に牛乳を無料でさしあげます。さしあげる牛乳は、一人一日に一本ですが、牛乳の支給ができないところには紛ミルクをさしあげます。

恵まれない家庭の妊産婦
 乳児に牛乳をあげます

四月一日から、生活保護をうけている家庭の妊産婦乳児と、市民税がかかっていない家庭の妊産婦乳児に牛乳を無料でさしあげます。さしあげる牛乳は、一人一日に一本ですが、牛乳の支給ができないところには紛ミルクをさしあげます。

お産の月までの六か月間
 産婦：お産の翌月から、三か月間
 乳児：生後、満四か月目から九か月間
 ◇申し込み◇
 支給を希望される保護者のかたは、母子手帳とハンコを持って、市役所保険課までおいでください。

なお、申し込み用紙(支給申請書)は、保険課に用意してあります。くわしいことは、市役所保険に、お問合せください。



3月ごみ処理日程

町	名	大	通	小	路
柏原	町	11.12.28.29日		12.14.29.30日	
上平井	町	14.15.30.31日		8.9.25.26日	
下平井	町	16.17日			
大寺	町	18.19日			
川端	町	20日			
川本	町	22.23日		12.14.18.19.30.31日	
東弥生	町	5.24日		7.24日	
新柳	町			5.19.23.24日	
田東	町			5.19.22.23日	
末田	町			7.8.18日	
田園	町	7.8.9.10.25.26日		9.10.15.16.25.26日	
	町			17日	
	町			15.16.17.31日	
	町			10.11.28.29日	
	町			11.28日	

◇位置指定日集地域◇

毎週	曜日	旭町
毎週	火曜日	旭町
毎週	水曜日	錦町・幾島町・さつき町
毎週	木曜日	敷島町・雛田町
毎週	金曜日	元町・平井町・岩木町
毎週	土曜日	平和町・千鳥町・十川町・下平井住宅

転居届は
 郵便局へも

住所が変わったら、旧住所の配達受持の郵便局へ、転居届をだしましょう。転居届をだしておかないと、旧住所あての郵便物は差出人にもどされます。転居届の用紙は、郵便局のほか、市役所市民課の窓口にあります。なお、転居届によって郵便局を転送する期間は、一年間です。できるだけ早く、通信先に住所の変更したことを、お知らせしましょう。